第２部　ワークショップ資料２

新潟市教育ビジョン

第３期実施計画～NEXT&NEW～

平成28年度
施策の点検と評価
（ダイジェスト版）

本編は、新潟市ホームページに掲載（「新潟市教育ビジョン」で検索）

http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/seisaku/keikaku/kyoikuiinkai/kyoikuvision/kyoikuvision.html

平成29年9月

新潟市教育委員会

平成２８年度　施策評価一覧

	基本施策（13施策）	施　策（54施策） 網掛…■は【NEXT】に該当する8施策　■は【NEW】に該当する12施策		H28施策評価（3期進捗）	
1	確かな学力の向上	1--(1)	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進	4.3	3.9
		1--(2)	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進	4.3	
		1--(3)	基礎・基本を身に付ける教育の推進	3.4	
		1--(4)	アグリ・スタディ・プログラムの推進	4.0	
		1--(5)	学習習慣の定着	5.0	
		1--(6)	読書活動の推進と新聞活用の充実	2.5	
2	豊かな心と健やかな体の育成	2--(1)	いのちの教育・心の教育の推進	4.3	3.9
		2--(2)	一人一人の成長を促す生徒指導の推進	3.6	
		2--(3)	体験活動・ボランティア活動の充実	4.0	
		2--(4)	文化・芸術活動体験の推進	5.0	
		2--(5)	体力づくりの推進	3.0	
		2--(6)	健康づくりの推進	3.5	
		2--(7)	食育の推進	4.0	
		2--(8)	青少年の健全育成の推進	4.2	
3	創造性に富み，世界と共に生きる力の育成	3--(1)	地域学習の充実	5.0	4.5
		3--(2)	外国語教育・国際理解教育の充実	4.5	
		3--(3)	情報教育の充実とICTを活用した教育の取組	4.7	
		3--(4)	主体的な取組を促す環境教育の推進	4.5	
		3--(5)	海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進	4.0	
4	共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進	4--(1)	子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進	5.0	4.3
		4--(2)	特別支援教育のサポート体制の推進	5.0	
		4--(3)	早期からの就学相談・支援の充実	3.0	
5	校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5--(1)	新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組	4.0	4.5
		5--(2)	幼児教育の充実と幼保小連携の推進	5.0	
6	人権を守り共に支え合う社会の推進	6--(1)	人権教育，同和教育の推進，男女平等教育の推進	4.6	4.3
		6--(2)	交流・体験活動の推進	4.0	
7	家庭教育の充実と子育て支援	7--(1)	家庭教育充実への支援	4.7	4.6
		7--(2)	子育て支援の充実	4.5	
8	生涯を通じて学び育つ学習機会の充実	8--(1)	主体的な学習を支えるシステムづくり	4.0	4.7
		8--(2)	学び育つ各世代への支援	5.0	
		8--(3)	地域における生涯学習活動への支援	5.0	
9	地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進	9--(1)	地域と共に歩む学校づくりの推進	4.5	4.0
		9--(2)	広報広聴活動の推進	4.0	
		9--(3)	学校・地域・NPO等の協働の推進	4.5	
		9--(4)	高等教育機関及び企業との連携推進	4.7	
		9--(5)	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画	4.0	
		9--(6)	市民の生涯学習施設運営への参画	2.5	
10	学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進	10--(1)	防災・安全教育の充実	4.0	4.0
		10--(2)	保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進	4.0	
		10--(3)	安全な学校施設	4.0	
		10--(4)	学びを支援する体制の整備と充実	4.0	
11	学校教育・生涯学習環境の基盤整備	11--(1)	効果的な指導を支援する施設設備の充実	4.0	3.6
		11--(2)	コミュニティの拠点としての学校整備	5.0	
		11--(3)	学校施設の整備	1.0	
		11--(4)	生涯学習施設を核とした学習環境の整備	4.3	
12	市民に信頼される教育関係職員の育成	12--(1)	教育関係職員の研修プログラムの充実	4.0	4.1
		12--(2)	教職員への支援体制の充実	4.3	
		12--(3)	信頼される教職員の採用・登用・配置	4.0	
		12--(4)	教育関係職員の人事管理の適正化	4.0	
13	ニーズと課題に応える教育行政の創造	13--(1)	新潟らしい教育改革の推進	4.0	4.0
		13--(2)	効果的・効率的な執行体制の整備		
		13--(3)	教育情報の収集と発信	4.0	
		13--(4)	学校適正配置		
		13--(5)	教育施策の管理と適切な評価	(3.0)	

施策評価の平均

全施策の平均	4.12
NEXT&NEWの平均	4.10

施策評価の分布

施策評価５　（平均評価5.0の施策数÷51施策×100）	17.6%
施策評価４　（平均評価4.0以上5.0未満の施策数÷51施策×100）	66.7%
施策評価３　（平均評価3.0以上4.0未満の施策数÷51施策×100）	9.8%
施策評価２　（平均評価2.0以上3.0未満の施策数÷51施策×100）	3.9%
施策評価１　（平均評価1.0以上2.0未満の施策数÷51施策×100）	2.0%

施策評価の総括

各施策の評価は，5.0から1.0までの数値で示されており，指標目標どおり達成した場合は，評価4.0以上となる。教育ビジョンの54施策のうち，数値評価できるものが51施策あるが，51施策の平均が4.12，更にＮＥＸＴ＆ＮＥＷの20施策の平均が4.10となり，両方とも評価4.0以上となった。

また，評価の分布を見てみると，指標目標を上回って達成した評価５（平均評価5.0）が9施策で17.6%，指標目標を概ね達成した評価４（平均評価4.0以上5.0未満）が34施策で66.7%，両者を合わせると84.3%となり，施策全体に設定した指標目標に対しては評価３となった。これは平成27年度最終評価において全施策の中で「指標どおり概ね達成した施策の割合」が90.2%となり，これを平成28年度指標目標として設定したことによる結果である。しかしながら，84.3%の施策が目標を達成したことは，施策が着実に実施され成果を挙げていると判断できる。

目指す子どもの

○学力・体力に自信をもち，世
○生涯を通じて学び育つ，創造

学・社・民の融合

学・社・民の融合による教育を推進します。

9－（1）地域と共に歩む学校づくりの推進
主な事業　・地域と学校パートナーシップ事業
・ふれあいスクール事業
・公民館出前型事業

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア（延べ人数）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		1,240	1,270	1,640	1,670	1,700	
進捗状況	1,210	1,531	1,611				
指標2	ふれあいスクール週当たり開催（日数）→H29～ふれあいスクール年間開催（1校当たり日数）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	
進捗状況	1.93	1.97	2.02				
指標3	土曜プログラムモデル実施校数（校）→H29～土曜プログラム活用校数（校）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		4	4	20	24	27	
進捗状況	—	4	4				
指標4	公民館出前型事業の実施校数（校）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		66	67	94	→	→	
進捗状況	66	72	89				

H28施策評価	4.5

□すべての市立学校に配置された地域教育コーディネーターが地域と共に歩む学校づくりを推進した。

○地域と学校パートナーシップ事業については，地域から多くの学校支援ボランティアの協力を得て，学習活動の充実，子どもたちの人間関係の広がりと深まり，子どもたちが認めてもらえる機会の増加がみられた。また，学校の地域貢献活動や社会教育施設及び地域コミュニティ協議会との協働事業が増加傾向にある。

○ふれあいスクール事業は，28年度新たに1校を加え，小学校67校で実施した。また，ふれあいスクール運営主任の研修会には，放課後児童クラブの支援員も参加し，ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や情報交換を行った。

確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

1－（1）社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進
主な事業　・持続可能な開発のための教育（ESD）推進事業
・「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		20.0	50.0	75.0	→	→	
進捗状況	—	42.5	72.0				
指標2	「アクティブ・ラーニング」を実施した学校の割合（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0	→	→	
進捗状況	92.0	95.0	100.0				
指標3	放課後の学習支援をする中学校（校）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		56	56	56	→	→	
進捗状況	—	56	56				
指標4	環境教育に関する実践的な取組を広報する（回）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		1.0	1.0	1.0	→	→	
進捗状況	1.0	1.0	1.0				
指標5	環境教育事業の実施						H28評価
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
指標目標		実施	実施	実施	→	→	
進捗状況	実施	実施	実施				

H28施策評価	4.3

□すべての学校が，「アクティブ・ラーニング」を取り入れた教育活動を実施した。

○4月に第1回の研究主任研修会を開催し，アクティブ・ラーニングの充実に向けた全体指導を行うとともに，各学校の取組計画についてグループ協議で検討を行い，研究主任が各学校で取組をリードできるよう支援した。その後，計画訪問及び要請訪問を通じて，各学校の状況に応じて個別の支援・指導を継続した。その結果，学びの質や深まりを重視する授業づくりが着実に広まっている。

○アフタースクール学習支援員については，今年度，数学25名，英語29名を登録し，英語は全36中学校，数学は54中学校に配置した。5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い，今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校もある。全体での一斉授業と個別の支援の両面から生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。10月には学習支援員の研修会を行い，支援の質の向上に努めた。

1－（3）基礎・基本を身に付ける教育の推進
主な事業　・学力実態調査　・学習支援員派遣事業
・学力定着支援事業　・理科大好きプロジェクト
・アフタースクール学習支援事業

指標1	全国学力調査B問題（小6・国語）で全国平均を上回った児童の割合（%）→H29～全国学力調査B問題（小6・国語）で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合（%）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		61.7	61.9	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	70.7	68.5	63.5				
指標2	全国学力調査B問題（小6・算数）で全国平均を上回った児童の割合（%）→H29～全国学力調査B問題（小6・算数）で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合（%）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	2
指標目標		59.7	59.9	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	73.4	56.0	50.0				
指標3	全国学力調査B問題（中3・国語）で全国平均を上回った児童の割合（%）→H29～全国学力調査B問題（中3・国語）で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合（%）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
指標目標		53.2	53.4	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	67.3	66.1	49.0				
指標4	全国学力調査B問題（中3・数学）で全国平均を上回った児童の割合（%）→H29～全国学力調査B問題（中3・数学）で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合（%）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	2
指標目標		61.2	61.3	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	62.8	48.2	52.0				
指標5	児童質問紙「授業では，自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で，肯定的な回答をした児童（小6）の割合（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		84.0	84.5	85.0	→	→	
進捗状況	83.1	87.7	87.4				
指標6	児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通して，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか」で，肯定的な回答をした児童（小6）の割合（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		70.5	71.0	72.0	→	→	
進捗状況	69.8	70.7	74.4				
指標7	生徒質問紙「授業では，自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で，肯定的な回答をした生徒（中3）の割合（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		80.0	80.5	81.0	→	→	
進捗状況	79.1	85.0	84.2				
指標8	生徒質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通して，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか」で，肯定的な回答をした生徒（中3）の割合（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		70.0	71.0	72.0	→	→	
進捗状況	69.0	70.5	71.6				

H28施策評価	3.4

□継続した授業改善の取組により，全国学力調査で，多くの児童生徒が全国平均を上回った。

○【全国学力・学習状況調査による正答率】
・国語A　小学校：76.3%(全国比+3.4)
中学校：76.8%(全国比+1.2)
・国語B　小学校：61.3%(全国比+3.5)
中学校：67.4%(全国比+0.9)
・算数数学A 小学校：79.7%(全国比+2.1)
中学校：62.7%(全国比+0.5)
・算数数学B 小学校：49.1%(全国比+1.9)
中学校：45.6%(全国比+1.5)

○全国学力調査の国語・算数・数学のB問題において，平均正答率は全国平均より新潟市平均が大きく上回っているものの，指標2～4に見られるように全国平均正答数を上回る児童生徒数の割合は指標目標を下回った。これは，正答数が低位だった児童生徒が各事業によって中位程度まで向上してきた反面，中位の児童生徒が上位には上がらなかったためである。

○学校訪問の継続により，組織的な授業改革が浸透してきた。校長・教頭・研究主任に対し，継続的に授業マネジメント研修を行うことで定着してきたと考えられる。また，8月に教諭全員を集めて実施した授業づくり研修により，中学校の授業改革が進んできた。

○算数・数学の単元評価問題等の配信は，今年度から経年変化が分かるグラフが出るように修正した。指導の要点をもとに指導を行い，評価問題に取り組む学校が増えてきた。

後期実施計画の見直しを行ったうえで重点的に取り組む5つの方向

NEXT 5

1－（4）アグリ・スタディ・プログラムの推進
主な事業　・「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業

指標1	「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している小学校の割合（%）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
進捗状況	100.0	100.0	100.0				
指標2	アグリ・スタディ・プログラム評価・サポート委員会によるプログラムの検証率（%）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		25.0	50.0	75.0	100.0	100.0	
進捗状況	—	25.0	50.0				

H28施策評価	4.0

□すべての小学校が「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施した。

○アグリ・スタディ・プログラム(以下ASP)総合推進会議の検討内容を受け，各区小学校代表校長（8名）と代表中学校長（4名）からなるASP推進委員会を2回開催した。そこでは，総合推進会議で示された方向性に基づいて，各区において具体的にどのように取り組むかについて情報交換を行った。

○教職員向けのASP研修会を4回開催した。そこでは，搾乳体験などのASPの体験プログラムを実際に体験するとともに，それを取り入れた具体的な指導方法についての研修を行った。参加者からは，すぐに自分の実践に利活用できる研修内容として好評を得た。

2－（2）一人一人の成長を促す生徒指導の推進
主な事業　・いじめ対策等生徒指導推進事業
・教育相談ネットワーク事業
・カウンセラー等活用事業

指標1	新潟市生活・学習意識調査の「自律性」「社会性」にかかわる質問項目のうち，肯定的な回答が前年度の数値を上回った項目の割合（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		66.7	66.7	67.0	→	→	
進捗状況	61.1	83.3	69.2				
指標2	小学校いじめ解消率（%）※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	97.0	→	100.0	
進捗状況	96.2	99.1	95.8				
指標3	中学校いじめ解消率（%）※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	97.0	→	100.0	
進捗状況	94.5	96.3	98.1				
指標4	小学校　不登校（30日以上欠席）発生率（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	2
指標目標		0.38	0.38	0.38	→	→	
進捗状況	0.40	0.40	0.44				
指標5	中学校　不登校（30日以上欠席）発生率（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		2.65	2.62	2.60	→	→	
進捗状況	2.69	2.64	2.64				

H28施策評価	3.6

□いじめ認知件数が大幅に増加し，いじめ認知に向けた意識が高まった。

○「新潟市いじめ防止等のための基本的な方針」について，迅速かつ組織的・実効的に対応できるように改訂し，各学校園に周知した。

○4月の学校マネジメント研修では，「いじめの認知と対応」「学校・学級の諸問題への対応について説明し，校長への周知と理解の促進に努めた。

○11月12日（土）に「新潟市教育フォーラム2016（いじめ防止市民フォーラム）」を開催し，新潟市全体でいじめの実態と対応策を共通理解する機会とした。全中学校区から，総計約450名が参加した。

○これまでのスクールカウンセラーの学校への配置に加えて，新たに86校の小学校にスクールカウンセラーを配置し，本年度より，すべての市立学校にスクールカウンセラーの配置を行った。

子どもの読書活動を推進するとともに，市民が自ら課題解決を図るための読書環境を充実していきます。

1－（6）読書活動の推進と新聞活用の充実
主な事業　・学校図書館活用推進校事業　・学校図書館支援センター事業
・学校図書館支援事業　・新聞活用の推進

指標1	学校図書館を活用した授業を「月に数回程度」行った小学校の割合（%）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	1
指標目標		78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	
進捗状況	77.2	75.6	46.8				
指標2	学校図書館を活用した授業を「学期に数回程度」行った中学校の割合（%）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	
進捗状況	55.1	62.1	55.2				
指標3	中学生の不読率（%）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		12.0	11.5	11.0	10.5	10.0	
進捗状況	12.1	12.3	11.8				
指標4	ほぼ毎日新聞を読む中学生の割合が，全国平均を上回る（ポイント）→H29～週に1回以上新聞を読む中学生の割合が，全国平均を上回る（ポイント）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	1
指標目標		2.8	2.8	2.8	→	→	
進捗状況	2.7	1.0	1.1				

H28施策評価	2.5

□読書活動推進により，中学校で不読率が改善方向を示してきた。

○指標1のH28評価が低評価に止まったのは，全国学力・学習状況調査の項目内容が「図書館の活用」から「図書館資料の活用」に変わったためである。今後，教育委員会で実施している調査結果を用いて評価をしていく。

○学校図書館活用推進校事業の説明会を5月18日に開催し，今年度の活用推進校33校（小学校22校・中学校11校）が参加した。2月に各区で行われた実践報告会では，「読書センター」「学習・情報センター」としての機能を意識した優れた実践報告が行われた。また，総合教育センターの研修講座「教員と司書との連携充実」（8月5日「図書館活用推進編」，9月16日「探究学習編」）には多くの推進校の教員と司書が参加し，学校図書館を活用した探究型学習について学びを深めた。

指標目標の設定型
Ⅰ型：第3期実施計画の5か年分を設定
Ⅱ型：初年度，中間（もしくは最終）年度等を設定
Ⅲ型：前年度の実績を踏まえて毎年度設定
Ⅳ型：数値ではなく文字で設定

子育てや各世代の学びに対する支援に努め，地域の教育力の活用を推進します。

8－（2）学び育つ各世代への支援
主な事業　・にいがた市民大学開設事業　・現代的課題を学ぶ公民館事業
・学習成果を発表する場の提供　・子どもの読書環境の整備
・子どもが読書に親しむ機会の充実
・仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業

指標1	にいがた市民大学の受講率（%）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
進捗状況	84.5	122.5	112.5				
指標2	現代的課題を学ぶ事業の実施						H28評価
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
指標目標		実施	実施	実施	→	→	
進捗状況	—	実施	実施				
指標3	文化祭・芸能祭等の実施						H28評価
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
指標目標		実施	実施	実施	→	→	
進捗状況	—	実施	実施				
指標4	児童書の貸出冊数（冊）（12歳以下の子ども1人あたり）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		12.2	12.4	13.2	→	→	
進捗状況	12.1	13.1	13.1				
指標5	レファレンス受付件数（件）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		72,000	72,800	90,000	→	→	
進捗状況	69,600	83,157	94,580				

H28施策評価	5.0

□市民の学習活動の場の確保に努めた。

○にいがた市民大学：市民提案講座や大学コンソーシアム連携講座など，専門性の高い講座や，時代と社会の要請に応えた講座を合計5講座開設した。定員を上回る受講申し込みがあり，市民の高度で専門的な学習要求に応えた。

○若者を対象に社会人としての能力を高め，他業種の人とのネットワークを広げる機会となる講座や高齢者の健康と生きがいづくりと地域社会参加への支援など，現代的課題の学習機会を提供した。講座受講生が，自主サークルを結成し，更に学習を進め，次年度の講座でスタッフとして参加するなど，学習成果が生かされている。

○公民館で活動している団体の，日頃の学習成果を発表する場として，文化祭や芸能祭を開催し，公民館利用団体等の活性化と学習意欲の向上を図った。

○図書館や学校などでの読み聞かせを行えるよう，読み聞かせボランティアを新たに47名養成した。

市民から信頼される学校・教育機関となるよう，人材の育成と職場の環境整備を進めます。

12－（1）教育関係職員の研修プログラムの充実
主な事業　・教育関係職員の研修プログラムの一層の充実
・学社民融合研修の推進

指標1	各研修講座における受講者の満足度と活用度（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		80.0	85.0	85.0	→	→	
進捗状況	80.0	87.0	87.5				
指標2	マイスター養成塾修了者（人）						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		102	108	110	120	→	
進捗状況	102	103	110				
指標3	学社民融合研修会の実施（回）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		7	7	7	→	→	
進捗状況	7	7	7				

H28施策評価	4.0

□研修プログラムの改善により，講座受講者の満足度と活用度が目標を上回った。

○前年度より6講座減らしたために，参加人数は減ったが，受講者の評価は高い数値を維持することができた。法定研修・若手教師道場での「指導主事等とのマンツーマンの授業づくり研修」の体制を堅持したこと，学校のニーズに応じた研修講座を提供したこと，参加型の研修方法を工夫したことが評価されている。

○パートナーシップ事業研修会に公民館の学社民融合支援主事，図書館職員が延べ98名参加して地域教育コーディネーターとの情報交換を行い，地域教育コーディネーターと社会教育施設とのネットワークづくりを促した。また，地域教育コーディネーターのスキルアップのため，研修運営を担当する地域教育コーディネーターによる研修幹事会と区研修を実施した。

指標目標の評価基準（ ）内は減少指標目標　※達成率 = 進捗状況値 ÷ 指標目標値 × 100

5：指標を上回って達成〔達成率105%以上（95%未満）〕
4：指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満（同左）〕
3：指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満（105%以上115%未満）〕
2：指標を下回った〔達成率75%以上85%未満（115%以上125%未満）〕
1：指標を大きく下回った〔達成率75%未満（125%以上）〕

の姿・市民の姿

界と共に生きる心豊かな子ども
力と人間力あふれる新潟市民

ふによる教育の推進

未来の新潟を担う子どもたちの生きる力の育成のため，校種間の連携をさらに強めます。小中学校においては，一貫した教育への取組を始めます。また，幼保小連携の充実を図りながら新潟市における幼児教育の方向性について検討を進めます。

5－（1）新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組

主な事業　・小中一貫教育パイロット事業
　　・学校間連携推進事業

指標1	小中一貫教育推進協議会（回）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		発足	3	2	→	→	
進捗状況	—	発足	3				

指標2	新規パイロット事業実施中学校区数（延べ数）→H29～新潟市にふさわしい小中一貫した教育に取り組んだ中学校区数（延べ数）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		—	4	8	24	40	
進捗状況	—	—	4				

指標3	学び方等，共通の取組を設定した中学校（校区数）						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		56	56	56	→	56	
進捗状況	—	55	56				

H28施策評価	4.0

□幼・保・小・中連携事業についての実践事例集を編集し，取組を広める体制ができた。

○「小中一貫教育部会」を3回（平成27年度から通算5回）開催した。4つのパイロット校における実践をもとに情報交換を行い，各校の実施内容と現状における課題などについて協議した。実践を通して，小中一貫教育を各中学校で進める際の共通プログラムと独自プログラムのイメージが明らかになってきた。また，第5回の部会では，平成29年度からのパイロット校にも参加してもらった。実践を始めるにあたって不明な点を確認することができた。

○「幼保小連携部会」では，今年度から新潟版アプローチカリキュラムの作成に向け，教育課程の編成を担当する主任級の委員を新たに加えることで，現場の声を反映させやすくなった。協議を通じて新潟版アプローチカリキュラムの概要が明らかになってきた。

5－（2）幼児教育の充実と幼保小連携の推進

主な事業　・幼保小連携推進事業
　　・幼保小合同研修会

指標1	幼稚園・保育園との連携の充実を図り，小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会を実施した小学校の割合（%）						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		10.0	95.0	100.0	→	100.0	
進捗状況	—	90.0	100.0				

指標2	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている小学校の割合（%）						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		10.0	40.0	70.0	→	70.0	
進捗状況	—	30.0	72.0				

指標3	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市立幼稚園の割合（%）						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		27.3	90.0	100.0	→	100.0	
進捗状況	—	81.2	100.0				

指標4	隣接する小学校区における，幼稚園，保育園，小学校等の職員を交えた研究保育を年間複数回実施した市立幼稚園の割合（%）						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		18.1	63.6	90.0	→	90.9	
進捗状況	—	54.5	90.0				

H28施策評価	5.0

□研修会を通じて，幼・保・小の接続カリキュラムについての意識が高まった。

○8月4日，中之口幼稚園において新潟市幼保小連携推進事業合同研修会を開催し，西蒲区内小学校・公私立幼稚園・保育園の教員・保育士等57名が参加した。公開保育をもとにした協議と幼保小連携や接続に関する情報交換が行われた。幼児期の教育で大切にされていることをどのように小学校における教育へとつなげていくか参加者が熱心に協議した。

○市立幼稚園教育研究協議会の研修会の際，アプローチカリキュラム作成について指導・助言し，幼小接続期カリキュラム作成への意識が高まった。

NEW 5

新たな視点で取り組む具体的な5つの項目

世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し，コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

3－（2）外国語教育・国際理解教育の充実

主な事業　・外国語指導助手（ALT）配置事業
　　・国際交流推進事業
　　・外国語教育支援事業

指標1	新潟市生活・学習意識調査（小6）で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		75.0	75.0	82.0	→	→	
進捗状況	74.5	73.8	81.1				

指標2	新潟市生活・学習意識調査（中3）で「外国語活動の勉強が好き」と回答した生徒の割合（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		56.5	56.5	57.0	→	→	
進捗状況	56.0	54.6	56.7				

H28施策評価	4.5

□「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童生徒数が増加した。

○小中高連携をテーマに協力校3校（上所小，鳥屋野中，万代高）による公開授業を行い，指導内容と評価法を見直した。その研修の成果を12月16日に行われた外国語教育マネジメント研修において，全小中高の英語科主任や外国語担当と共有した。

○8月に，現在の英語力の把握とさらなる英語力向上への意識高揚を図るため，中学校英語担当教員に対して英検IBA受検を行った。（140名の中学校英語担当教員が受検）

○小学校と中学校の授業づくり研修会において，外部専門機関から指導者を招聘し，英語指導力の向上を図った。（計3回）

3－（3）情報教育の充実とICTを活用した教育の取組

主な事業　・タブレット等ICT活用研修（教職員研修）

指標1	コンピュータ等（タブレットPCを含む）の情報通信技術を活用して，子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した小学校教職員の割合（%）						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		66.6	66.6	70.0	→	70.0	
進捗状況	65.7	60.3	98.0				

指標2	コンピュータ等（タブレットPCを含む）の情報通信技術を活用して，子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した中学校教職員の割合（%）						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		51.0	51.0	55.0	→	55.0	
進捗状況	50.0	50.0	97.0				

指標3	「アクティブ・ラーニング」の実施した学校の割合（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0	→	→	
進捗状況	92.0	95.0	100.0				

H28施策評価	4.7

□小・中学校で，情報通信技術を活用した協働学習や課題解決型の学習指導の実施が大幅に増加した。

○タブレット機器の新規導入校に，活用の基礎となる操作説明会を実施し，授業での活用を促した。

○4月に第1回の研究主任研修会を開催し，アクティブ・ラーニングの充実に向けた全体指導を行うとともに，各学校の取組計画についてグループ協議で検討を行い，研究主任が各学校で取組をリードできるよう支援した。その後，計画訪問及び要請訪問を通じて，各学校の状況に応じて個別の支援・指導を継続しているところである。学びの質や深まりを重視する授業づくりが着実に広まっている。

3－（5）海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進

主な事業　・日本語指導協力者派遣事業
　　・外国人児童生徒への支援体制の整備

指標1	日本語指導協力者の指導により，日常会話ができるようになった子どもの割合（%）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
進捗状況	85.0	81.8	82.1				

H28施策評価	4.0

□海外帰国・外国人児童生徒が学校生活にスムーズに適応できた。

○年度当初，日本語指導協力者連絡会を開催し，事業の実施について協力者及び学校関係者と共通理解を図った。

○各学校から要請のあった対象児童生徒38名（25か校）に対して延べ25名の日本語指導協力者を派遣している。派遣回数は，児童生徒の日本語能力の実態に応じて15回～25回（1回2時間）としている。

11－（1）効果的な指導を支援する施設設備の充実

主な事業　・学校ICT環境整備事業
　　・教育ネットワーク構築事業

指標1	タブレット型コンピュータを整備した小・中学校の割合（%）						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		34.0	68.0	90.0	100.0	100.0	
進捗状況	5.0	34.0	68.0				

指標2	教育ネットワークの構築						H28評価
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
指標目標		調査・研究	調査・研究	導入法検討	計画策定	開発	
進捗状況	—	調査・研究	調査・研究				

H28施策評価	4.0

□学校内のコンピュータ教室用の端末等機器，校内LAN用コンピュータ，教職員用コンピュータの更新を計画通りに実施した。

○教育用コンピュータ，校内LANコンピュータの更新は下記の計画どおりに実施されている。更新作業は10月31日までに終了。
・更新計画…教育用コンピュータ　58校2,438台（内タブレット550台）／校内LAN用コンピュータ101校　567台（内タブレット480台）

○教育ネットワークの導入については，導入内容の検討を行った。

学校や公民館・図書館などにおいて，多様なニーズに応じた学習機会の充実を図るため，企業や民間団体と連携する取組を始めます。

9－（4）高等教育機関及び企業との連携推進

主な事業　・高等教育機関活用推進事業
　　・図書館と教育機関・企業との連携・協力

指標1	高等教育機関からの専門的な情報提供，指導等を受けている教育課題（課題）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		2	3	3	→	→	
進捗状況	1	2	3				

H28施策評価	4.7

□高等教育機関・企業等と連携・協力し，多様なニーズに応じた学習機会を提供した。

○外国語教育については，文科省の英語強化事業「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を実施し，県外から指導者を招いて，授業を参観してもらうとともに，研究授業の指導案検討の際は，中・高の英語教師の指導力向上にむけての助言をもらった。

○平成28年度より，新たに公益財団法人新潟市国際交流協会との連携による「外国語の絵本の読み聞かせ」，新潟薬科大学との連携による「図書館活用ゲーミフィケーション（図書館の活用方法を学ぶための大学生向け図書館ガイダンス）」を行い，好評を得た。

指標2	にいがた市民大学の受講率（%）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
進捗状況	84.5	122.5	112.5				

指標3	連携・協力の実施状況（連携事業数）（件）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		9	9	9	9	9	
進捗状況	9	11	11				

共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を始めます。

4－（1）子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進

主な事業　・インクルーシブ教育システム構築の推進事業

指標1	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員（幼・小・中・高）（人）						H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
進捗状況	1,500	1,516	1,585				

H28施策評価	5.0

□特別支援教育に関する公的研修を通じて，インクルーシブ教育システムの認識が高まった。

○3回実施した合理的配慮セミナーは，それぞれの回の受講対象者を「特別支援教育コーディネーター+希望者」「教頭」「生徒指導担当者+希望者」とし，特別支援教育を学校体制として推進できるようにした。アンケートの評価，満足度とも非常に高く，合理的配慮の提供に必要な校内支援体制，組織整備に関して，認識が高まった。

○市立明鏡高等学校の文部科学省指定事業「高等学校における通級指導教室の研究」について，3年間の継続研究の成果発表会を行い，県内外から163人の参加があった。

4－（3）早期からの就学相談・支援の充実

主な事業　・早期からの就学支援の推進

指標1	入学支援ファイルの活用件数（年度ごとの数）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
指標目標		300	350	310	→	→	
進捗状況	280	331	315				

H28施策評価	3.0

□小学校新入学生の「入学支援ファイル」のより一層の活用のため，目的や活用例を説明した。

○小学校新入生の「入学支援ファイル」の活用状況調査において，「入学支援ファイル」の提出は315人であり，新入生の48%の提出である。特に特別支援学級在籍児童の提出は，902%であった。

○特別支援教育管理職研修や幼稚園研修において，就学支援や「入学支援ファイル」の目的や活用例について説明し，保護者と学校との連携を促した。

ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

10－（1）防災・安全教育の充実

主な事業　・「防災教育」学校・地域連携事業（ふるさと新潟防災教育推進事業）

指標1	「防災教育」学校・地域連携事業指定校数（校・累計）						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		34	68	102	136	→	
進捗状況	8	34	69				

H28施策評価	4.0

□「防災教育」学校・地域連携事業の35指定校で，小中学校及び地域と連携した自校化プログラムを作成した。

○各校の防災担当者及び地域教育コーディネーターを対象に，「防災教育」学校・地域連携事業実施研修会を開催した。新潟県防災教育プログラムの<教職員ガイド編>を用いて，防災教育の理念と防災教育の自校化についての説明を行った。また，平成27年度指定校による活動報告（4校）及び中学校区単位でのワークショップを通じて各校の防災教育実践の方向と指導計画自校化のイメージをもつことができた。

10－（4）学びを支援する体制の整備と充実

主な事業　・就学援助事業　・奨学金貸付事業（高校～大学院）
　　・社会人奨学金貸付事業

指標1	就学援助制度の保護者への周知率（%）小学校						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0	→	100.0	
進捗状況	100.0	100.0	100.0				

指標2	就学援助制度の保護者への周知率（%）中学校						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0	→	100.0	
進捗状況	100.0	100.0	100.0				

指標3	奨学生（高校～大学院）の採用率（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0	→	→	
進捗状況	100.0	100.0	100.0				

指標4	奨学生（社会人）の採用率（%）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0	→	→	
進捗状況	100.0	100.0	100.0				

※指標5～7は再掲のため省略

H28施策評価	4.0

□就学援助事業，奨学金貸付事業を着実に実施し，保護者や採用者に対しての経済的負担の軽減を図った。

○就学援助事業は，小・中学校を通じて保護者全員に「就学援助制度についてのお知らせ」を4月及び10月の年2回配付し周知を図った。認定した16,043人の保護者に対して，学校にかかる学用品費や給食費等の一部を援助し，経済的負担の軽減を図った。

○奨学金貸付事業は，選考基準を満たした93人について採用を決定し貸し付けを行い，高等教育の機会均等を図った。制度周知の強化のため，市内の高校を通じて，来年度に進学予定の高校3年生の約8,000人に対して，拡充した返還特別免除制度の情報が掲載されている案内チラシを配付した。

○社会人奨学金貸付事業は，募集人数10人に対し，7人の申請があった。申請者全員について採用を決定し，キャリアアップを目指す社会人学生に対して経済的支援を行った。

13－（1）新潟らしい教育改革の推進

主な事業　・区教育ミーティングの開催
　　・中学校区教育ミーティングの開催

指標1	区教育ミーティングの開催（回）						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		16	16	16	→	→	
進捗状況	16	16	16				

指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数（累計中学校区数）→H29～（中学校区数）						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		32	56	28	28	→	
進捗状況	8	32	56				

H28施策評価	4.0

□教育委員が担当区の区教育ミーティングや中学校区教育ミーティングに参加し，地域や中学校区の取組・課題の共通理解を図れた。

○第1回目の区教育ミーティングでは，今年度教育委員会が進める施策のうち，特に市民と協働して行う事業について情報提供をし，意見交換を行った。第2回目では，各区の課題や特徴をテーマに話し合うとともに，教育委員から他区の事例を紹介し，意見交換の充実を図った。

○中学校区教育ミーティングでは，各中学校区の取組や課題について意見交換し，「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成を図った。

教育ビジョン推進委員からの主な質問・意見・要望

平成29年5月に開催された第36回新潟市教育ビジョン推進委員会において，推進委員からいただいた主な質問・意見・要望と，それに対しての教育委員会の回答は次のとおりです。

（○…教育ビジョン推進委員　　⇨…教育委員会の回答）

施策1-(1)　「社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進」

○　ESD（持続可能な開発のための教育）の広報はどのように行っているのか。また「アクティブ･ラーニング等の取組を研究主任が各学校でリードできるよう支援した」とあるが，研究主任は校内のどのような人が務め，教育委員会は学校の支援要請に十分に応えられているのか。

⇨　ESDについては学校支援課で作成している広報紙等で周知している。研究主任は教諭が務め，授業研究やESDの実施計画等を立てて推進している。計画訪問は2年に1回，要請訪問は各校からの要請に応じて対応している。この他にも総合教育センターの研修や出前講座等で学校の支援にあたっている。

施策1-(5)　「学習習慣の定着」

○　「家庭学習を1時間以上する中学校2年生の割合」は増えているが，どのように調べているのか。また小学校6年生や中学校の各学年ごとの状況などはわかっているのか。

⇨　新潟市の生活・学習意識調査は小中学校全学年を対象にしている。「していない」から「3時間以上している」までの幅で状況の把握はしている。全国学力学習状況調査は小6と中3で行われているが，小学校は全国と同じか少し良い状況で，中学校は全国を下回る状況である。現在，家庭学習のあり方の改善に取り組んでいるところである。

施策1-(6)　「読書活動の推進と新聞活用の充実」

○　図書館の活用や読書の推進等に取り組んでいるが，読書の感想文を書いたり，その発表を通じて，人の心を育てることはとても大切であると思うが，そのようなことは行われているのか。

⇨　指標では明確に表れていないが，学校司書を中心に，学級担任等との連携の上で実施されている。

施策3-(2)　「外国語教育・国際理解教育の充実」

○　小学校3年生からの導入，現中学校3年生が臨む大学入試の改革等を踏まえて，市としての明確な考え方について教えてほしい。また今後，小学校教員に対する研修はどのように変わっていくのか，具体的に教えてほしい。

⇨　昨年度から小中高連携研究指定校を設置して校種を超えた英語指導の研究に取り組んでいる。また小学校で英語が完全実施される32年度を目途に，子どもたちの英語力を高めるために，計画訪問や要請訪問を通じて，子どもたちが協働性を発揮して学ぶアクティブ・ラーニングの推進を指導している。小学校教員の研修については，毎年，小中1名の教員が文部科学省の研修を受け，市内の10数名の中核教員に6回の研修を通じて伝達している。次年度はその中核教員が他の教員に伝えていく計画を行う。ALTは，現在の31名を，平成32年までに40名程度に増やす計画である。

施策4-(1)　「子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進」

○　特別支援教育の教員研修はとても大切であるが，実際にどのような方法で行われ，受講した教員の割合はどの程度であるか。

⇨　平成28年度は校長・教頭を対象に実施し，順次，管理職，特別支援教育コーディネーター，他の教員へと進めていく。概ね4,000人の教職員に対して，毎年1,500人ずつ実施していき，インクルーシブ教育システムの意義や求められている取組等の理解を図り，推進していく。

○　特別支援教育やいじめ対応の研修等では，危険性をもつ状況等を認知できる感性を育むことが大切である。聞くだけの研修でなく，様々な事例検討を通じた感性を磨く研修を目指してほしい。その際，特別支援教育サポートセンターや各区担当指導主事からアセスメント等を指導していただきたい。

⇨　一人一人の職員が参画し，様々な事例から学んでいくことはとても大切であり，今後の研修計画に活かしていきたい。

施策4-(3)　「早期からの就学相談・支援の充実」

○　入学支援ファイルの活用について，新入生の4.8%は少ないと印象を受ける。幼稚園や保育園から子どもを受け入れる小学校は，もっと提出してほしいと願っているのではないか。また入学支援ファイルを記入するのは保護者であるのか。

⇨　全新入生約6,000人の5%であれば300人。普通学級の在籍の児童であり，少ない数値ではないと考えられる。入学支援ファイルは，保護者に説明して，保護者の同意の下，担当教員も記載し，場合によっては療養施設や医師からも記載してもらっている。

施策8-(2)　「学び育つ各世代への支援」

○　「にいがた市民大学」であるが，今後の開催のねらいを含めて，市民大学の意義を教えていただきたい。また講座で学んだ学習成果を活かすための取組が大切であるが，そのために次年度の講座スタッフとして参加したり，自主組織で更に学んだりすることはあるのか。

⇨　民間団体等も各種の講座を行っている状況を踏まえて，今後も専門性の高い，また時代のニーズにあった内容で，学習機会を提供していく。学んだことを，他地域や他団体等に入って伝えたり，共に活動したりする「学びの循環」は大切であり，主要な事業の1つとして取り組んでいきたい。

○　図書館事業の「赤ちゃんタイム」や「うちどく」が始まったきっかけや現状，課題を教えてほしい。

⇨　「赤ちゃんタイム」は乳幼児を連れて図書館に行けることを目的に，平成26年度に中央図書館で始め，現在は全19図書館で実施している。楽しみに来館していただき，来館者同士の交流も生まれている。「うちどく」は家庭内で家族で一緒に本を読んだり，感想を言い合ったり，家庭内の読書を勧める事業である。今後更に広く周知するため，ロゴマークの活用，ブックリストの広報，読書ノートの配布等を継続して行っていく。

施策9-(1)　「地域と共に歩む学校づくりの推進」

○　地域と学校ウェルカム参観日は，昨年度16校から45校に拡大しましたが，参観者は何人だったのか。また授業参観日だからこそ増えたのか。

⇨　45校で12,767人，昨年度と比べ約4倍となっている。通常の授業参観を拡大している場合もあるが，地域の方に来ていただくためにという場合もあり，各校で異なる。地域の方はおよそ3,000人が来校していた。

施策9-(3)　「学校・地域・NPO等の協働の推進」

○　「共生社会」や「学・社・民」等により，アウトリーチ型の支援が行われていると思うが，新潟市の事例等について紹介してほしい。またコミュニティ協議会など，地域の組織等が参画していることはあるのですか。

⇨　地域との連携を大切にし，NPOの方々との連携は約半数の学校で行われている。大学や専門学校とでは53%の学校が連携している。連携内容は，生活指導や学力向上など学校の必要感に基づいて行われ，地域教育コーディネーターが連携先との橋渡しや内容の相談をしている。昨年度，コミュニティ協議会と学校が連携して取り組んだ学校数は，153校であり，全学校の92%である。

※紙面の関係で，主な「質問・意見・要望」を記載しています。

新潟市教育ビジョン第3期実施計画　　**平成28年度　施策の点検と評価（ダイジェスト版）**

発行：新潟市教育委員会　教育総務課　教育政策室
〒951-8550　新潟市中央区学校町通1番町602番地1
TEL　025-226-3177　　FAX　025-230-0401　　E-mail　somu.ed@city.niigata.lg.jp